



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 みずほ信託銀行株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 8404 URL <http://www.mizuho-tb.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 野中 隆史
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 植松 昌澄 TEL 03-3274-9000
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、銭未満、小数第1位未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	51,332	10.2	8,421	—	7,307	—
22年3月期第1四半期	46,580	△19.8	△5,253	—	△4,073	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	1.45	0.92
22年3月期第1四半期	△0.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	6,168,759	317,605	5.1	23.52
22年3月期	5,916,203	313,273	5.2	22.63

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 316,090百万円 22年3月期 311,590百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—
通期	22,000	47.8	3.93

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P1-3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	5,025,851,829株	22年3月期	5,025,370,829株
23年3月期1Q	862,349株	22年3月期	856,289株
23年3月期1Q	5,024,807,637株	22年3月期1Q	5,024,201,539株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

- ・本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(種類株式の配当の状況)

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第一回第一種優先株式					
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0.00	—	6.50	6.50
第二回第三種優先株式					
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0.00	—	1.50	1.50

[添付資料の目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	……P1-2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	……P1-2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	……P1-2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	……P1-2
2.	その他の情報	……P1-3
	(1) 重要な子会社の異動の概要	……P1-3
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	……P1-3
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	……P1-3
3.	四半期連結財務諸表	……P1-4
	(1) 四半期連結貸借対照表	……P1-4
	(2) 四半期連結損益計算書	……P1-6
	(3) 継続企業の前提に関する注記	……P1-7
	(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	……P1-7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(詳細は、別添資料「平成23年3月期第1四半期決算の概況」をご覧ください。)

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、中国などの新興国を中心とした海外経済の回復などを背景に、輸出が緩やかに増加し、企業の生産活動も増加基調で推移するなど、着実に持ち直してきております。

一方で、企業の設備投資が下げ止まり、景気の自律的回復への基盤は整いつつあるものの、雇用情勢は依然として厳しく、回復実感の伴わない状況にあります。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、「“アセット&ウェルス”マネジメントにおけるトップブランド」の確立に向け、みずほフィナンシャルグループ全体のお客さまへの信託商品・信託サービス提供を加速するとともに、信託の強みを発揮できる独自領域への経営資源の集中により収益の向上を図っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結四半期純利益は、前年同期比113億円増加し、73億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前期末比2,525億円増加し6兆1,687億円となりました。このうち、貸出金は197億円増加し3兆4,653億円となりました。有価証券は、国債及び外国証券が増加したこと等により、1,845億円増加し1兆7,150億円となりました。

総負債は、前期末比2,482億円増加し5兆8,511億円となりました。このうち、預金は主として定期預金の減少により1,544億円減少し2兆4,219億円、コールマネー及び売渡手形は1,318億円増加し6,532億円、債券貸借取引受入担保金は1,170億円増加し3,563億円となりました。

純資産は、連結四半期純利益の計上等により、前期末比43億円増加し3,176億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期の連結業績見通しは、当期純利益220億円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

(当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当ありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成22年3月期の予想損失率に基づき計上しております。

(特有の会計処理)

該当ありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間から、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号平成20年3月10日)を適用しております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

②資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。なお、これにより税金等調整前四半期純利益が109百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	463,621	390,977
買入金銭債権	178,508	200,059
特定取引資産	68,954	57,626
有価証券	1,715,096	1,530,532
貸出金	3,465,349	3,445,646
外国為替	786	2,095
その他資産	173,796	179,293
有形固定資産	34,267	34,433
無形固定資産	29,566	31,861
繰延税金資産	24,328	27,500
支払承諾見返	39,233	41,073
貸倒引当金	△24,750	△24,896
資産の部合計	6,168,759	5,916,203
負債の部		
預金	2,421,975	2,576,407
譲渡性預金	833,310	811,900
コールマネー及び売渡手形	653,262	521,427
債券貸借取引受入担保金	356,357	239,315
特定取引負債	73,056	63,028
借入金	388,088	301,900
外国為替	0	0
社債	124,700	126,700
信託勘定借	902,259	862,362
その他負債	43,565	41,405
賞与引当金	357	2,353
退職給付引当金	468	476
役員退職慰労引当金	223	257
偶発損失引当金	13,094	13,121
睡眠預金払戻損失引当金	1,200	1,200
繰延税金負債	0	0
支払承諾	39,233	41,073
負債の部合計	5,851,154	5,602,929

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
資本金	247,284	247,260
資本剰余金	15,426	15,402
利益剰余金	32,901	25,594
自己株式	△137	△137
株主資本合計	295,475	288,119
その他有価証券評価差額金	27,595	31,359
繰延ヘッジ損益	△4,953	△5,787
為替換算調整勘定	△2,027	△2,101
評価・換算差額等合計	20,614	23,471
新株予約権	241	290
少数株主持分	1,273	1,392
純資産の部合計	317,605	313,273
負債及び純資産の部合計	6,168,759	5,916,203

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
経常収益	46,580	51,332
信託報酬	10,246	10,427
資金運用収益	18,751	16,838
(うち貸出金利息)	14,169	12,305
(うち有価証券利息配当金)	3,289	3,741
役務取引等収益	13,499	14,597
特定取引収益	644	1,070
その他業務収益	2,098	3,425
その他経常収益	1,341	4,972
経常費用	51,833	42,911
資金調達費用	8,260	5,560
(うち預金利息)	3,726	2,126
役務取引等費用	3,739	3,965
特定取引費用	0	130
その他業務費用	376	265
営業経費	29,321	28,674
その他経常費用	10,134	4,315
経常利益又は経常損失(△)	△5,253	8,421
特別利益	426	518
特別損失	48	147
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,875	8,791
法人税、住民税及び事業税	160	236
法人税等調整額	△861	1,364
法人税等合計	△701	1,601
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,174	7,190
少数株主損失(△)	△100	△116
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,073	7,307

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。